



## SOPHIA未来募金

### 恒常的な募金活動3年目

#### より一層のご支援を

2014年4月、名称も新たにスタートした「SOPHIA未来募金」も3年目を迎え、ソフィア・ファミリーの絆の深まりを体現するかのよう、各方面の方々から多大なるご協力を頂戴しております。皆様からのご寄付は9月30日現在、約2億3000万円集まっており、募金の目的（SOPHIA未来募金の概要参照）の実現へと着実に近づいております。

#### 事業の進捗状況

■新6号館（ソフィアタワー）完成間近  
教育研究環境整備支援の面では、2017年4月に供用開始を予定している6号館（ソフィアタワー）間もなく完成するその姿は、早くも四谷のシンボルの風格を漂わせています。ソフィアタワーと2005年に竣工した2号館とを結合連絡通路も架けられ、建物間備を充実させます。

#### 新たなご寄付

■事業会社による寄付  
9月16日には、株式会社ソフィアキャンパスサポート様（※）（木村増夫代表取締役）より2000万円ものご寄付を頂

#### 先輩から後輩へ

ソフィアタワー廻り大通り側の様子

#### 先輩から後輩へ

ソフィアタワー廻り大通り側の様子

#### 先輩から後輩へ

ソフィアタワー廻り大通り側の様子

#### 先輩から後輩へ

ソフィアタワー廻り大通り側の様子

#### 先輩から後輩へ

ソフィアタワー廻り大通り側の様子

#### 先輩から後輩へ

ソフィアタワー廻り大通り側の様子

#### 先輩から後輩へ

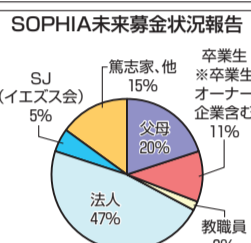
ソフィアタワー廻り大通り側の様子



新6号館ソフィアタワーの様子

区分	金額の合計
父母	44,983,514
卒業生※卒業生オーナー企業含む	25,362,011
教職員	3,406,471
法人	105,069,980
SJ(イエズス会)	12,235,610
篤志家、他	34,500,185
計	225,557,771

(円)



**= SOPHIA未来募金の概要 =**

■募金の名称  
SOPHIA未来募金

■募金の目的  
(1)教育研究支援  
・教育研究活動の充実(アンコール・ワット西参道修復工事支援、グリーンケア研究所等研究所・研究室・研究者への支援)  
・グローバル・リーダー養成(関連するカリキュラム、研究等の運営支援)  
・キャリア形成支援(関連するカリキュラム、講演等の運営支援)  
・課外活動・ボランティア活動支援  
(2)奨学金の新設と拡充  
・経済的に修学困難な学生(被災学生等)、海外留学を希望する学生・優秀な外国人学生への奨学支援  
・学部学科研究科等独自の奨学支援  
・グローバルチャレンジ支援(海外留学・語学研修等の奨励)  
(3)教育研究環境整備支援  
新棟建築、四谷をはじめ各キャンパスの整備・再構築

■募金目標額  
2億円(毎年度)

■募集期間  
4月1日～3月31日 毎年度募集いたします。

■募金方法  
従来の方でお受けいたします。  
詳細は趣意書およびホームページ(<http://sophia100.jp/>)でお確かめください。



株式会社SCSへの感謝状贈呈

このご寄付は、学部・学科独自の奨学金・同窓会奨学金や教育研究・教育環境整備などに使用させていただきます。「他者のために、他者とともに」という教育精神を、先輩から後輩へご寄付といたただけましたことに、心より御礼申し上げます。

5月29日に四谷キャンパスにて開催されたオーソフィアアンズフェスティバルにおいては、卒業50年目の昭和41年卒業金祝有志一同様(代表:池尾茂様)より、母校の後輩のために260万円ものご寄付を頂戴しました。

このご寄付は、学部・学科独自の奨学金・同窓会奨学金や教育研究・教育環境整備などに使用させていただきます。「他者のために、他者とともに」という教育精神を、先輩から後輩へご寄付といたただけましたことに、心より御礼申し上げます。

**SOPHIA未来募金** 表1  
ソフィアタワーホールプレート募金(仮称)募集概要

【寄付金額】  
1個人・団体様につき累計100万円以上(2017年4月1日からの累計額)

【募集期間・席数】  
2017年4月1日より開始  
第1次募集:ホール全席783席のうち400席分(個人200席、団体200席)  
※満席になり次第、終了とさせていただきます。

【寄付金の使途】  
奨学金(給付型)の設立  
※使途指定寄付となりますので、その他の使途はご指定できません。

【募集対象】  
個人・団体

【掲載条件】  
字数制限あり。詳細は2017年4月以降に頒布されます募集要項およびSOPHIA未来募金ホームページにてお知らせいたします。

【税法上の優遇措置について】  
当募金はSOPHIA未来募金へのご寄付としてお受けし、税法上の優遇措置を受けることができます。

【お申込方法】  
2017年4月以降にSOPHIA未来募金ホームページおよび募集要項等にて詳細をお知らせいたします。

【その他】  
◆座席の指定につきましては、当方にて座席を決定いたします。ご希望には沿えかねますので、ご了承ください。なお、個人はホール前方部分200席、団体はホール後方部分200席に設置いたします。  
◆1席分のプレートへの連名記載につきましては、個人のみ1席につき2名様までのご芳名を掲載することが可能です。  
◆新6号館(ソフィアタワー)寄付者銘板にもご芳名を掲載いたします。

来春4月に供用開始を予定している新6号館(ソフィアタワー)の建設も大詰めを迎え、地域のランドマークとしてその姿を現し始めています。このソフィアタワーには、783人の収容を可能とする大教室をはじめ

「SOPHIA未来募金」は期限を設けず、恒常的な財政基盤として毎年度、継続的に募集いたします(SOPHIA未来募金概要参照)。本学が掲げるグローバル展開力やグローバル人材育成の強化には、継続的な財源が必要不可欠です。皆さまからの継続的なご寄付による一層の温かい申し上げます。

(※)株式会社ソフィアキャンパスサポート  
学校法人上智学院が2013年7月31日に公表した「グランド・レイアウト2.0」の財政計画(分野別計画)の一つとして、大学の教育研究や学生サービスの向上に財務面および業務面で貢献することを目的に2015年2月2日に設立された事業会社。

キーワードは「継続」

「SOPHIA未来募金」は期限を設けず、恒常的な財政基盤として毎年度、継続的に募集いたします(SOPHIA未来募金概要参照)。本学が掲げるグローバル展開力やグローバル人材育成の強化には、継続的な財源が必要不可欠です。皆さまからの継続的なご寄付による一層の温かい申し上げます。

**SOPHIA未来募金** 表2  
ソフィアタワー寄付者銘板概要

【掲載対象・寄付金額】  
個人・団体 10万円、法人 50万円  
2014年4月1日以降にSOPHIA未来募金へのご寄付の累計額とし、ご芳名の公開をご希望されました個人・団体・法人を対象とさせていただきます。

【設置予定日】  
2017年夏以降設置予定

【税法上の優遇措置について】  
当募金はSOPHIA未来募金へのご寄付としてお受けし、税法上の優遇措置を受けることができます。

【その他】  
銘板の設置場所は、竣工後建物の意匠に基づき決定します。

ソフィアタワー内観イメージ

ソフィアタワー内観イメージ

ソフィアタワー内観イメージ

ソフィアタワー内観イメージ

また、100周年記念事業募金でも好評を博しました銘板へのご芳名掲載ですが、「SOPHIA未来募金寄付者銘板」としてソフィアタワー内の設置を行います(表2)。

銘板は、個人・団体・法人様を対象に、個人一口10万円以上、団体・法人一口50万円以上にてご芳名掲載をさせていただきます。銘板の設置は2017年夏を予定しております。お席には限りがございますので、ぜひお早めにお申し込みをお願いたします。

新たな上智学院のシンボルとしていよいよ来春より供用が開始されるソフィアタワー。上智学院その象徴とも言える建物に、ご自身はもちろん、ご家族をはじめとした方々のお名前を感謝の気持ちとともにかたちに、永く残されてみてはいかがでしょうか。

# SOPHIA未来募金「寄付者の集い」

## 多大なご支援に感謝を込めて

6月23日、高祖寄付者  
を対象とした「寄付者の  
集い」を本学13号館1階  
にて開催いたしました。  
「寄付者の集い」は、S  
OPHIA未来募金へ一  
定額以上のご支援を頂戴  
した寄付者をご招待し、  
上智学院より感謝の気持  
ちを直接お伝えする場と  
して企画されたもので、



今回が初めての開催とな  
ります。当日は、高祖敏明理事  
の挨拶とご支援への御  
礼にはじまり、SOPH  
IA未来募金推進委員長  
である上原治也様の乾杯  
のご発声により歓談が始  
まりました。立食形式の  
中にご出席いただいた寄付  
者の皆さまには、ご父母  
や卒業生といった枠を超  
えて、楽しく有意義なひ  
と時をお過ごしいただき  
ました。

「勸智が世界をつなぐ」  
という理念のもと、社会  
をリードする役割を果た  
す卒業生を輩出すること  
が我々の使命と考えてい  
ます。残念ながら今回ご  
出席がかなわなかった寄  
付者の皆さまから頂戴し

同いできる大変有意義な  
場となりました。  
このたびにご出席された  
高祖寄付者の皆さまから  
は、ザビエル高校留学生  
奨学金をはじめとする各  
種奨学金や課外活動団体  
の現役学生支援、グリー  
ンコールワット西参道修  
復工事など幅広くご支援  
をいただいております。  
こうした皆さまの本学  
院・学生に対する温かな  
想いを確実に具現化し、

ました本学への多大なる  
ご支援に対しても、毎年開  
催を予定しております。  
厚く御礼申し上げます。  
なご、この「寄付者の  
集い」については今後も  
毎年開催を予定しており  
ます。ご寄付をいただ  
いた皆さまからの声に常  
に

耳を傾けながら、今後も  
教職員一丸となって努力  
してまいります。  
授与  
の広報につながる活動  
を行っている課外活動団  
体として5団体が選出  
されました。  
昨年度より上智大学後  
援会主催の「秋の懇親会」  
の第2部として贈呈式が  
開催され、当日は146  
人の会員が参加しまし  
た。兵藤嘉彦会長、高祖  
敏明理事長および早下隆  
士学長の挨拶のあと、兵  
藤会長から各団体の代表  
者に助成金10万円の目録

### 上智大学後援会課外活動団体助成金贈呈式

#### 大学の広報に資する活動を行う5団体に授与



10月22日、上智大学後  
援会による課外活動団体  
助成金の贈呈式が行われ  
ました。後援会は、学生  
を物心両面で支援  
することを目的に  
設立された父母・  
保証人の任意団体  
です。この助成金  
制度は、学生の課  
外活動を直接支援  
したいという後援  
会の想いが実現し  
たもので、今年で  
9年目を迎えまし  
た。今年度は、「大

応援団 (1960年創設)	上智大学のさらなる活性化と発展に貢献することを目的とし、体育団体連合会に所属する各部の応援を行うほか、校歌講習会の開催や、SOFEXにおける文化系団体との協働を実施してきた。今年度、ホームページを刷新し、SNSでは各部リーグ戦の結果や大学行事の様子をタイムリーかつ頻りに更新するなど、上智大学の活躍を外に発信する活動に力を入れている。
観光研究会 (2015年創設)	2016年5月～6月にかけて、ウニの産地として知られる岩手県洋野町で、訪れた観光客が自ら殻をむいてウニ丼を作る体験型観光企画を実現させた。東日本大震災を踏まえ、町の魅力を知ってもらい観光客を呼び込んで復興支援につなげることを目的とし、4日間で計100名の参加者を動員。参加費から得た利益を復興支援として寄付をした。体験の様子は、デーリー東北新聞・岩手日報・WEB観光政策フォーラム(公益社団法人日本観光振興協会)に取り上げられ、本学の教育精神を体現する活動として発信することができた。向こう3年は企画の継続を考えており、今後の広報力にも期待できる。
競技ダンス部 (1953年創設)	体育団体連合会に所属する団体の中で随一の実績(*)を誇り、充実したホームページおよびSNSにおいて、その活動成果を発信している。また、スポーツ推薦の無い本学において文武両道での活躍を示し、入学を希望する学生のモチベーションを高める機会にも繋がっている。(※第111回東都大学学生競技ダンス選手権大会;団体準優勝、第97回東都大学学生競技ダンス選手権大会I部戦;団体準優勝、第54回全日本学生競技ダンス選手権大会;ラテンの部第三位・これにより台湾で行われる国際大会への出場が決定)
上智大学中国留学生会 (2001年創設)	2016年度の活動テーマとして「留学生が留学生を支援する」を掲げ、留学生特有の悩みを理解しサポートするための活動を実施している。新入生歓迎会では、学生・教職員・大使館・企業の方々など124名を招待し、留学生を支援して下さる様々なステークホルダーとの交流を図った。また、日本語学校に通う中国人学生150名を対象に進学説明会を開催し、入試および学生生活に関する相談を行うなど、入学を希望しながらも不安を抱える留学生を積極的にサポートしてきている。
上智大学放送研究会(SBC) (1961年創設)	映像制作技術及びアナウンススキルの向上を目的とした実践練習を行う傍ら、大学および学生主催行事の情宣を積極的に展開している(食堂での上南戦ラジオ配信、上南戦やSOFEXでの動画撮影およびハイライトビデオの作成等)。また、課外活動団体の新歓プロモーションビデオを制作するなど、学生の活躍に関する広報も一手に担い、上智大学のブランド発信に大きく貢献している。

## 第4回・上智大学建学の精神を学ぶ旅 カンボジアのソフィア・アジア・ミッションを訪ねる

### 参加費の一部を寄付

アンコール遺跡国際調  
査団長の石澤良昭教授同  
行のもと、今年の8月4  
日～10日に実施された



「第4回上智大学建学の  
精神を学ぶ旅」カンボジ  
アのソフィア・アジア・  
ミッションを訪ねる」



当ツアー参加者から高祖  
理事長に目録を贈呈

現地での写真を見ながら  
行なわれた報告の様子

のツアー参加者から計54  
万円をこのたびご寄付い  
ただきこととなり、10月  
14日、高祖敏明理事長、  
石澤教授出席のもと、贈  
呈式が行われました。  
2013年度より毎年  
行われているこの「上智  
大学建学の精神を学ぶ  
旅」は、旅行代金のうち  
2万円を石澤教授が推進  
するアンコール・ワット  
西参道修復工事への寄付  
とさせていただきます。お  
り、このたびの54万円を

含め、これまでのご寄付  
額は累計で約145万円  
余りに達しております。  
贈呈式では、石澤教授  
をはじめ当ツアー参加者  
の皆様より高祖理事長へ  
目録が贈呈され、その後  
現地での写真を見ながら  
旅の思い出や現地の様  
子、アンコール遺跡の現  
状などについて報告や情  
報交換がなされました。  
ツアーに参加し実際に  
現地の様子を肌で感じて  
いただき、その参加費の

### 上智大学ソフィア会

## 2016ソフィアズカップゴルフ大会

ショートホールチャリティーからのご寄付

16ソフィアズカップ  
ゴルフ大会が集まった募  
金をSOPHIA未来募  
金として頂戴したもので  
す。  
ソフィアズカップゴ  
ルフ大会は今年で21回  
目を迎へ、ゴルフを嗜ま  
れている多くのソフィア  
ンに好評を得ております。  
当日は、台風一過晴天と  
なり総勢132人のソフ  
ティアンが酷暑厳しい空  
もと爽やかな汗を流し、  
親睦を深めました。



大会当日は台風一過で  
晴天に恵まれた

頂戴したご寄付は、ショ  
ートコースでワンオンで  
きなかつた場合のペナル  
ティ500円を含めた参  
加者の皆さまからの「寄  
付」で成り立っております。  
世代の枠を超え、ソフ  
ティアンとしての「絆」を  
象徴するこのゴルフ大会  
からのご寄付に対し、あ  
げます。

### 上智オリジナル

#### 寄付者限定記念品のご紹介

本学院では、ご寄付い  
ただきました方全員に、  
寄附金額に応じて心ばか  
りのお礼として上智オリ  
ジナルの記念品(非売品)  
レム、校章、ソフィア  
ン



ゴルフを嗜まれている多  
くの参加者で賑わった



金時絵シール(全9種)

今回はその記念品の一  
部をご紹介します。  
金時絵シール・エンブ  
レム、校章、ソフィア  
ンくんの3種が  
あります。ス  
マートフォン  
などに貼れば  
上智オリジナル  
グッズにな  
ります。ご寄  
付を頂戴した  
定です。

皆さまより大変好評を頂  
いており、これまでのゴ  
ールド・シルバーに加え、  
今年度新たに新色4色  
(ピンク・水色・紫・黒  
脂)をご用意させていた  
だきました。  
エンブレム入り今治タ  
オル・日本最大のタオル  
生産地として有名な愛媛  
県今治市発祥の「今治タ  
オル」に、校章の刺繍を  
あしらいました。  
当方にてご寄付を確認  
後、本学より御礼状や領  
収書をお送りする際に同  
封させていただきました。お  
り、記念品はこのほか  
にも数種取り揃えてお  
ります。さらなる記念品開  
発にも継続的に取り組む  
予定です。